

フォトライフ

四季

カメラのキタムラ フォト ネットワーク

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-1
☎ 045-476-0777
平成10年12月1日発行
季刊第27号

キタムラホームページ
<http://www.kitamura.co.jp>

カメラの
キタムラ®

vol.27
WINTER

特集 写真家・桜井 始氏

自分だけの風景を見つけだす、その冒険心が
冬の風景写真にオリジナリティを与える。

.....
新連載 田中長徳氏執筆 カメラはライカ 第1回
.....

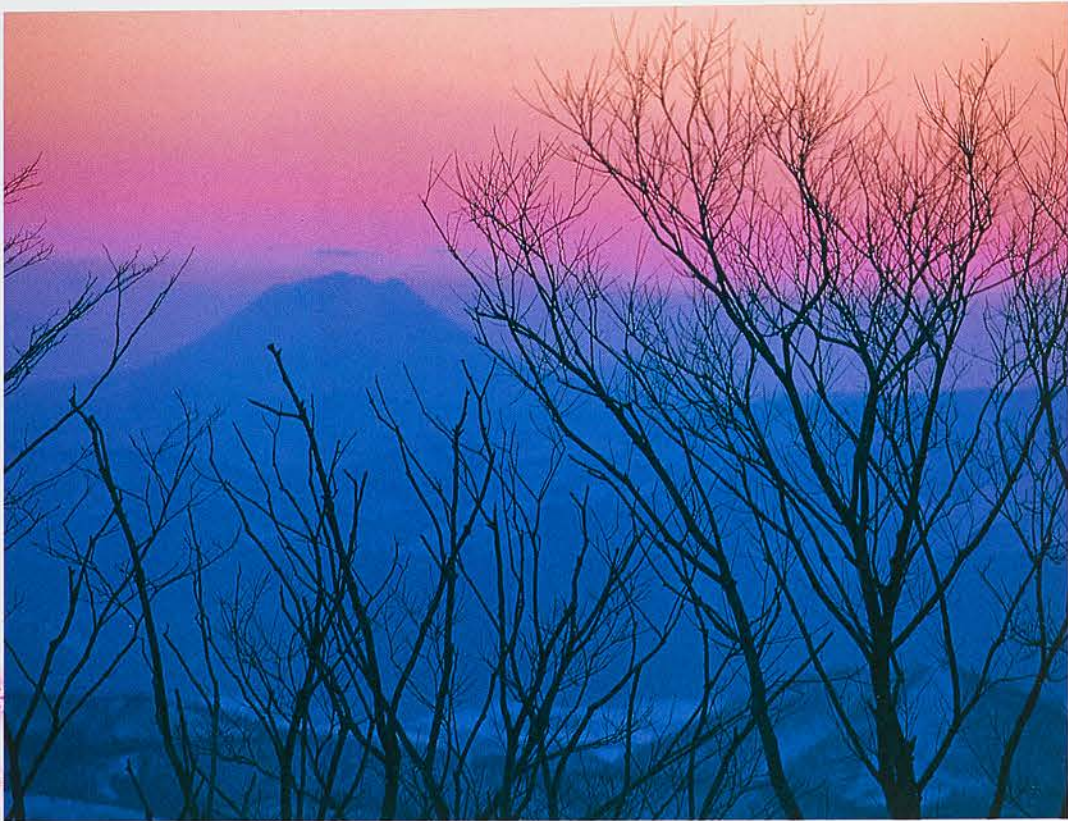
保存版 プリント特集

霧につつまれ…の摩周湖は実際にはそんなに霧は
ない。冬あるのは美しい霧氷だ。ただし、寒さは
マイナス15～20度るとき。
■カメラ：キャノンEOS1N レンズ：20～
35mm F2.8 絞り：f8 シャッタースピード：オ
ート フィルム：フジRDPII 撮影地：北海道摩
周湖 (撮影)桜井 始氏



フォトライフ
四季

CONTENTS
Vol. 27
WINTER



何も言わずにこの写真を見せると「この富士山どこから…」といわれるのが、なぜか楽しい。これは雄阿寒岳。
■カメラ：キャノンEOS1N レンズ：80~200mm F2.8 絞り：f16 (プラス1EV補正) シャッタースピード：オート フィルム：フジRAP 撮影地：北海道摩周よりの遠望 (撮影) 桜井 始氏

特集 写真家・桜井 始氏

自分だけの風景を見つけだす、その冒険心が冬の風景写真にオリジナリティを与える。..... 2

桜井 始先生が撮影した「日本の冬」..... 10

新連載 **カメラはライカ 第1回**
田中長徳氏執筆..... 13

ぶらりわが街 帯広・十勝 柴田哲兒さん..... 18

第6回チビッコ写真コンテスト キタムラが選んだおもしろチビッコ写真館..... 22

保存版 プリント特集..... 25

「ペット・動物ふれあい写真コンテスト」受賞作品誌上ミニ展覧会..... 16
第6回「チビッコ写真コンテスト」入選作品発表..... 20
キタムラ インフォメーション..... 32
プレゼントが当たる! クロスワードパズル..... 32
編集後記..... 32

次ページ (P2・3) の写真解説
厳冬の大雪原からのサンライズ。眩しさと平面的になるのを避けるためフレア・ゴーストを利用。
■カメラ：キャノンEOS1N レンズ：80~200mm F2.8 絞り：f8 シャッタースピード：オート フィルム：フジRDP II 撮影地：秋田県八幡平 (撮影) 桜井 始氏

MINOLTA

70 anniversary

ママの瞳の一眼レフ。



Sweet

子供の愛くるしいくさ、かわいい表情はママだけが知っています。そんな宝物のようなキラキラした一瞬を大切にキレイに残しておきたい。そんなママの気持ちに添えてミノルタから、αスイート登場です。

- 世界で一番小さくて*、軽い一眼レフです。
- 「アイスタート機能」搭載により、ファインダーをのぞくだけでピントが合い子供の一瞬を逃しません。
- シャッターを押すだけで、プロ級の仕上がりです。
- 「1/4000秒高速シャッター」「2コマ/秒の連写」や「I+I型の3点ワイドAF」など高機能も満載。こだわり派のパパだって大満足です。

希望小売価格(税別)
αスイート..... ¥92,000 (AFズーム28-80mmF3.5-5.6 IIシルバー付)
αスイート ボディ..... ¥67,000
AFズーム28-80mmF3.5-5.6 II シルバー..... ¥25,000
カメラケースCH-100..... ¥4,500

やさしく、軽い。世界最小*一眼。
α Sweet



*幅・高さ・奥行がいずれも世界最小。35mmレンズ交換式フラッシュ内蔵AF一眼レフカメラにおいて、1998年10月1日現在。 ■詳しいカタログを差し上げます。(住所・氏名・年齢・機種名記入) 〒108-8618 東京都港区高輪2-19-13 NS高輪ビル ミノルタ販売株式会社 フォトライフ四季係 ●αシステムのお問い合わせフリーダイヤル ☎0120-493-881 ●お客様相談窓口 ☎(03)5423-7555 ☎(06)271-2641



特集
写真家
桜井 始氏



さくらい はじめ
東京写真大学卒業。出版社勤務を経てフリーの写真家となり、風景・ポートレート・海外ルポ・コマーシャルと幅広い撮影分野で活躍中。各地のアドアマとの交流も深く、撮影指導や写真の審査員なども行っている。主な作品展：『エキゾチック・イスタンブール』『光の旅人』『シーサーロード』『光の旅人』季節の風。主な著作：『光の旅人写真集』『感性を磨く写真術』『VTR・イメージを生かす構図』など。日本カメラショー講師・日本写真学園講師。日本写真協会会員。

冬は風景写真を撮る方々にとって厳しい季節です。曇天の続く空、白い平面的な世界。とかく単調な作品になりがちです。加えて寒さで機材の調子が悪くなることもあります。カメラのキタムラでは今回のフォトライフ四季冬号の特集に、キタムラが主催する数多くの撮影教室で、たびたび講師をお願いし、アマチュアの指導にも深い経験をお持ちの桜井始先生をお招きして、こうした難しい冬の風景写真についてお話をおうかがいしました。先生の広範囲にわたる旺盛な撮影活動に支えられたアドバイスを参考に、皆さんも風景写真の撮影の季節に、冬を加えてみてはいかがでしょうか。皆さんのフォトライフを、より豊かなものとしていただければ幸いです。

※なお、表紙及び特集ページに掲載した写真は、すべて桜井氏の作品です。

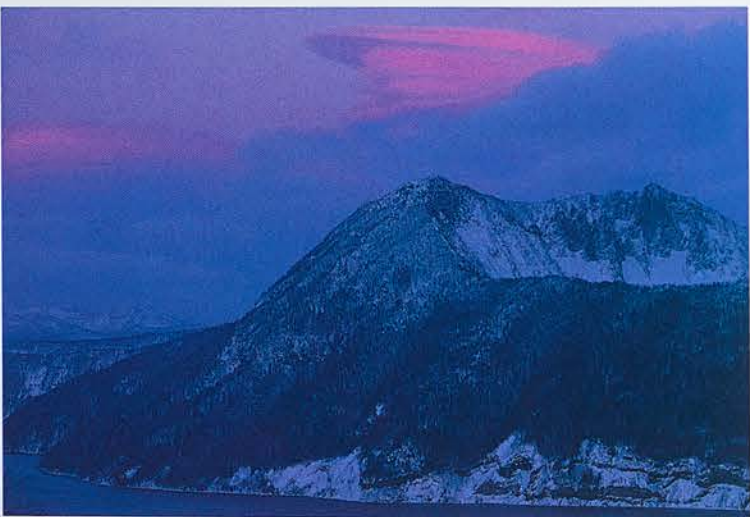
自分だけの風景を見つけだす、その冒険心が冬の風景写真にオリジナリティを与える。



木々に着いた霧氷はまるで凍った吐息のようだ。
■カメラ：キヤノンEOS1N レンズ：80~200mm F2.8 絞り：f16 (プラス1EV補正)
シャッタースピード：オート フィルム：フジRAP 撮影地：長野県美ヶ原



水辺のツララはいろんな所で発見できるのだが、滑りやすい所にあるのが主の傷。落ちないように、落ちないように近づくのがコツだが、望遠や望遠マクロがあると便利。
■カメラ：ミノルタα807 レンズ：200mm F2.8 絞り：f5.6
シャッタースピード：オート フィルム：RVP 撮影地：栃木県日光



夕景のシーン。日が落ちるのは反対側。こちらはその赤みの光を受け、オリジナリティのある色彩。
■カメラ：ミノルタα807 レンズ：200mm F2.8 絞り：f8 (マイナス0.5EV補正) シャッタースピード：オート
フィルム：フジRDP II 撮影地：北海道摩周湖

冬はその土地の生活感が最もよく出てくる季節。

本日はお忙しいところを取材に応じたいただき、ありがとうございます。さっそくですが、桜井先生が写真家になろうとしたきっかけからうかがいたいのですが、先生は最初から自然風景の写真に興味を持っておられたのですか？

高校の時から写真を撮っておりまして、当時はモノクロ写真が主流だったんですが、写真コンテストがたくさんあったんです。私が応募すると入選しまして、それで、これはプロカメラマンとしてやっていけるんじゃないかと間違えまして(笑)、高校2年の時からプロカメラマンを目指していたんです。お祭りとかポートレートとか、何でも撮っていました。人物を中心としたスナップが多かったですね。

自然風景の写真を撮りだしたのは、15年ほど前からなんです。最初は旅行をしながら、きれいだなと思った色彩や光のある風景を撮っていました。それから自然環境の破壊が気になりました。このきれいな風景を残しておきたいと思って撮りだしたんです。

先生は、日本各地の四季の風景を撮影してこられたことと思いますが、桜井先生にとって、冬という季節の魅力は、どういった点にあると考えるられますか？

同じところで春夏秋冬を撮っていると、その土地その土地に四季折々の風景があり、それぞれ異なった表情があります。ですから、冬にもまた違った風景があります。冬というのは寒いと思っている方が多いようですが、確かに雪が降っていると寒いのですが、かえってその土地の生活感には暖かみを感じられる季節なんです。その土地、その土地の人のふれあい、たとえば北国などでは冬は人の優しさが最も感じられる季節なんです。

桜井先生にとって、印象に残っている冬の土地はありますか？

何といっても北海道の知床です。流水のくる頃の知床近辺の冬は好きですね。それから最近では富士山かな。見ながら育ちましたから。冬は空気が澄んでいるのできれいなんです。米沢や美ヶ原もいいですね。

まず形を見つけること。形が見つかれば、白い世界に色が自然と出てくる。

寒い季節は寒い土地の方がいいのですか？

やはり雪という被写体は魅力的ですね。よく冬は雪が汚いものを隠してくれるといいますが、それは都会の話で、自然にはもともと汚いものなんかありません。冬というのは透明感のある季節で、特に寒い日の朝夕の風景はとてきれいです。雪の降り積もった平面的な白の世界が、朝方にはピンク色に染まります。そうした色の変化が面白いんです。

身近なところに冬の風景を 探すこと、それが一番 大切なことだと思います。



ブルーに結水する。フレベの滝（別名、乙女の涙）は流水と溶け込んでしまっていた。歩くスキーでここまで来たのだが、名前とはイメージが異なり、巨大なクジラの頭にもえビックリ！
■カメラ：キャノンEOS1 レンズ：20～35mm F2.8 絞り：f8 シャッタースピード：オート
フィルム：フジRDP II 撮影地：北海道知床



村外れにある地蔵さま。派手なエプロンや小さなほころが目印になっているのかもしれない？
■カメラ：ペンタックスZ1-P レンズ：28-105mm F4.5-5.6 絞り：f8 (プラス1EV補正) シャッタースピード：オート
フィルム：RDP II 撮影地：福島県会津

樹や枝に吹き付けられた様は、見ただけで震えがきそう。恵まれた自然とオインイメンにつられて来たが、「ここに住みましょ」は言えなくなった。
■カメラ：キャノンEOS1N レンズ：80-200mm F2.8 絞り：f8 (プラス1EV補正) シャッタースピード：オート
フィルム：フジRDP II 撮影地：福島県会津街道沿

アマチュアの場合、白い世界に色を感じさせてくれる風景を探し出すことは、難しいと思うのですが、そうしたアマチュアに向けてアドバイスをいただけますか？

たとえば冬に木を撮りますと、白い雪の中に木の黒い色が出てきます。お地藏さんには、まいかけがありますし、また動物や建物などにはどれも色があります。色として探すとは難しいと思いますので、まず形として探してみるというでしょう。形のあるものの中に、雪の白とのコントラストのある色を持つものを選べば、色は自然と出てくると思います。

今のお話とも関係があると思うのですが、冬の風景写真にオリジナリティを出すということも、アマチュアには難しいことだと思うのです。その点でも、アドバイスをいただければと思います。

有名な撮影地に出かけるのもいいのですが、それよりもまず身近なところで冬の風景を探すことではないでしょうか。それが一番大切なことだと思います。それから、誰かが撮っているから撮るのではなく、自分の目で風景を選び取る。たとえば有名地で撮影するにしても、最初

が、二度目には誰も撮っていない場所を探すこと。そうした冒険心を持つことが必要です。自分で探した、自分だけの撮影ポイントを見つけることです。そうした気構えが大事です。

風景写真は明け方がいいと言われていますが、冬の朝はとも寒いので、被写体を探して歩きまわるといいうのも大変だと思うのです。そこで昼に下見をするということもあると思うのですが、この下見の時に注意する点があったら教えてください。



も特別な配慮が必要になってくるのではな
いかと思いますが、桜井先生はどのような
工夫をなさっていますか？

国内であれば、冬だからといって特別な
装備は必要ないのですが、やはり寒さに対
する工夫は必要です。たとえば電池の予備
を入れておく場所などには注意がいります。
私の場合は肌に近い場所、シャツの胸ケ
ットに入れたり、ズボンのバンドの内側
はさみこんだりして、2本は必ず用意して
います。

それとカメラは前日から部屋の窓際に置
いて外気に近い温度にしておくことも大事
です。さらに外に持って行くときには、カ
メラのボディにタオルを巻いて輪ゴムでと
めるなどして、カメラを冷やさないよう
にします。
また風よけの工夫も大事です。シャワー
キャップなどでカメラを包んで風よけにす
るといいですね。

シャワーキャップですか？

ええ、シャワーキャップがいいんです。
使い捨てカイロよりも効果的です。それ
から撮影前にバックからカメラを出さない
こと。撮影中にもカメラのタオルは外さな
いようにします。

三脚は朝方などには凍ってしましますの
で、絶対に素手では持たないこと。布を三
脚の足に巻きます。三本ともに巻いてもい
いのですが、面倒であればどこか一本、持
つところにだけ巻いておきます。それと三
脚は前日に足を延ばして乾燥させておきま

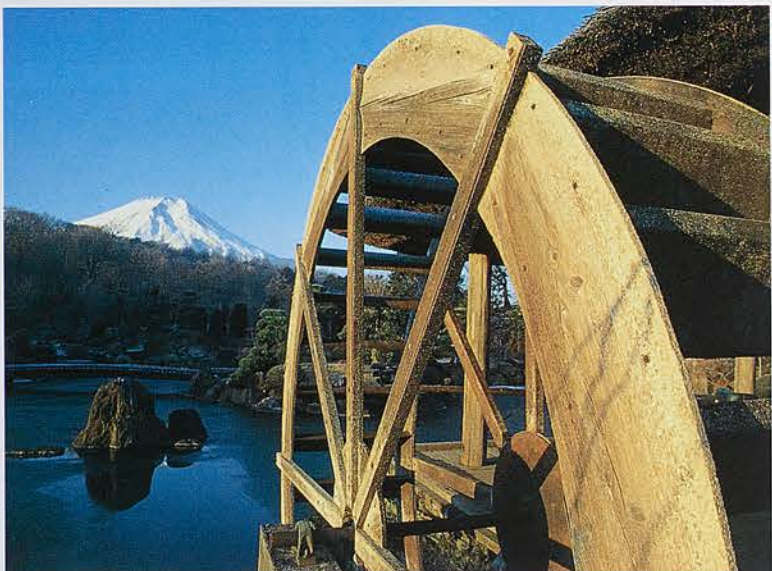
黒と白の世界はいろんな雑音を吸収してしまう。じっと見つめていてボク
まで吸い込まれそうになったシーンだ。
■カメラ：ペンタックスZ1-P レンズ：70～200mm F4～5.6 絞り：f8
(プラス1EV補正) シャッタースピード：オート
フィルム：フジRDP II 撮影地：山形県米沢

冬だからといって特別な装備は 必要ないが、工夫は必要。

寒い場所での撮影となると、機材に

じたままにシャッターを押す方がいいと思
うのですが、下見をするのなら、あまり神
経質にならずに光の方向にだけ注意してい
ればいいと思います。どちら側から光がさ
すかは地元の人に聞くといいですね。朝の
早い農家の方とか、海ならば漁師の方に訪
ねるといいでしょう。日の出の時間などは
ホテルのフロントに訪ねれば、たいていは
教えてもらえます。

ただし、日が出る方向ではなく、当たる
方向を気にしてほしいですね。



主役は水車なのです。超ワイドだからできる遠近感描写。近づくと効果的だ。
■カメラ：キャノンEOS1 レンズ：20～35mm F2.8 絞り：f8 シャッタ
ースピード：オート
フィルム：フジRDP II 撮影地：山梨県忍野



モデルの前に人物撮影について講義される桜井先生。



楽しく、わかりやすい桜井先生のご指導。



桜井先生は各地のキタムラで撮影教室を開かれています。

桜井先生には、これまでも各地のキタムラで、数多くの撮影教室の講師をお願いしてまいりました。自然風景の写真ばかりではなく、広告写真やポートレートなどでも素晴らしい作品を発表されている先生は、アマチュアに積極的に、写真の素晴らしさを伝えていこうと努力なさっています。また、数多くのカメラ雑誌にもアマチュア向けの講座を執筆され、「最盛期にはエッセイなども含めると月に30本ほど書いてい

ました」という先生の撮影教室は、その豊富なご経験に裏付けられた、分かりやすく、楽しい講義と、受講された方々より好評をいただいております。読者の皆さんの中で、まだ先生の講義を受けたことがないという方は、是非、機会がありましたらお出かけください。きっと新しい写真の魅力を教えていただけることと思います。

残り柿は雪と白とのコントラストが鮮やか。「一番雪でないダメだ！二番雪では柿が黒ずんでしまうんだ！んだ」とのこと。
 ■カメラ：ミノルタα707 レンズ：80～200mm F2.8
 絞り：f5.6 (プラス1EV補正) シャッタースピード：オート
 フィルム：フジRVP 撮影地：山形県米沢



冬の海辺の夕暮れは、水平線にいつまでも淡い色彩が残ってくれる。手前はホテルからの照明で、なにか寂しげなコントラストだ。
 ■カメラ：キャノンEOS1N レンズ：80～200mm F2.8 絞り：f8 シャッタースピード：オート フィルム：フジRDP II 撮影地：沖縄ムーンビーチ

す。中に水分があると凍ってしまいますから。手袋は軍手でもいいのですが、できればムースの革のものがいいんです。動物性の手袋ですと、寒くても凍って金属にくっついてしまうことがあります。また、雪の上では三脚が沈んでしまいますから、ビニールシートを一枚持って行くといいでしょう。撮影する前に三脚の下に敷いて、三脚の重さで三脚の足が雪に沈まないようにします。電子レンジ用の熱を通さないシートを使用しますと、雪の上に置いても冷たくならないし、座ってもいいので便利です。

色々アドバイスをありがとうございました。ところで先生の今後の活動について、おっかがしいのですが。

今は中東戦争の影響でなかなか行けませんが、私はずっとイスラム文化の撮影をしてきたので、今後もイスラムの文化や生活感を撮り続けてゆきたいんです。日本では仏教やキリスト教についてはわかるのですが、イスラム教の文化圏についてはわかりません。わからないことに興味があるんです。また最近では沖縄のシーサーの伝わってきたルートを撮影してきました。現在のシーサーは大和文化の影響を強く受けてきましたので、その原型とは異なっているのです。そうした仕事も近くまでみたいと思っています。

最後に先生の方からカメラのキタムラに期待すること、希望されていることが

ありましたら、教えてください。

キタムラのお店には若い従業員の人が多いのですが、そうした方々にもお願いしたいのは、カメラの魅力はもちろん、写真を撮る魅力もお客様に伝えてほしい。今以上に力を注ぐように心がけていただきたいです。それが大事だと思うのです。キタムラの方々もお客様と一緒に、もっと写真を撮ってほしい。キタムラの方が先頭に立って撮影の魅力を伝えてほしいですね。記録写真でもアートのでも、とにかく楽しむことが大切でしょう。

「ご意見をありがとうございました。本日一層努力を重ねていこうと思います。本日はどうもありがとうございました。」



写真集「光の旅人のタイトルにした。旅人だが、お願いして何度も行き来をしてもらった。フレアで変化を付けて光を演出している。偶然知り合ったのだが「もういい加減にしてくれ」と最後はごきげんななめ。一緒に飲んだ缶コーヒーがおいしかった。
 ■カメラ：ニコンF4 レンズ：180mm F2.8 絞り：f5.6 (プラス1EV補正) シャッタースピード：オート
 フィルム：フジRDP II 撮影地：山梨県平代田湖



見事なツララ。自然か、人工か。撮影が終わると近くのオジサンが「これだけ作るのに1週間かかるかなあ〜」
 ■カメラ：ホリスマン4×5に6×9cm判ホルダー使用
 レンズ：ニッコール180mm F5.6 絞り：f22 シャッタースピード：1/60秒 フィルム：RDP II 撮影地：石川県能登半島



霧水が落ちないうちにと、雪の深さを忘れて被写体に近づくと、いきなり溝に…。腰まで落ち、おかげでしっかりした人間三脚に。

■カメラ：キャノンEOS1N レンズ：135mm F2 絞り：f16 (プラス1EV補正) シャッタースピード：オート フィルム：フジRAP 撮影地：長野県美ヶ原



遠近感を縦構成がベスト。手前にポイントがある時には効果大。曲線の川の流れが変化を感じさせる。なお中判では深度が浅いのでやや絞り込み気味で。

■カメラ：フジGA645Zi レンズ：55~90mm F4.5~6.9 絞り：f16 (プラス1EV補正) シャッタースピード：オート フィルム：RAP 撮影地：福島県裏磐梯



新緑と間違えうほど美しい輝きをみせる稜線。優しさを感じる光だ。
■カメラ：ニコンF4 レンズ：180mm F2.8 絞り：f5.6 シャッタースピード：オート フィルム：フジRDP 撮影地：長野県開田



大勢の人がチャレンジすると本栖湖畔。こんな状態になると寒さを忘れ一斉に歓喜の声とシャッター音が…。

■カメラ：ペンタックス645 レンズ：55mm F2.8 絞り：f11 シャッタースピード：オート フィルム：フジRVP 撮影地：山形県本栖



見る見るうちに出来上がる田の造形がおもしろい。雪の振り方の直線を狙うが、見た目のイメージのシャッターは1/60~1/125秒が目安で、ここでは1/15秒を選んだ。

■カメラ：ペンタックス645 レンズ：75mm F2.8 絞り：オート シャッタースピード：1/15秒 フィルム：フジRVP 撮影地：山形県米沢



ブルーとホワイト。この組み合わせは美しい。こんな時は撮影するほうも心もトキメク。もし背景が同色だと悲しい霧水になるだろう。
■カメラ：フジGA645Zi レンズ：55~90mm F4.5~6.9 フィルム：RAP 撮影地：長野県美ヶ原

休めた羽を落として…。水との組み合わせは、冬のロマンを感じさせてくれる。
■カメラ：ミノルタα807 レンズ：100mm F2.8 絞り：f5.6 シャッタースピード：オート フィルム：フジRDP II 撮影地：北海道阿寒湖



富士山が一番美しく見られるという忍野。このシーンは前日に大雪が降りしんとした光景となりました。旧知の仲?のオヤジさんに頼み込み、早朝5時ごろから灯りをつけてもらい独壇場で!

■カメラ：ペンタックスZ1-P レンズ：28~70mm F2.8 絞り：f8 (プラス0.7EV補正) シャッタースピード：オート フィルム：フジRAP 撮影地：山梨県忍野



桜井 始先生が撮影した「日本の冬」

「まず形を捜すことです」というアドバイスをいただきました桜井先生。その桜井先生がとらえた、日本の冬の形と、その形が奏でる、時には鮮やかな、また時には繊細な冬の色彩を、先生ご自身のコメントとともにご紹介いたします。

川面からの蒸気に光が入ると、キラキラした輝きが見られ、宝石のツブを発見したようなうれしい気持ちになる。

■カメラ：キャノンEOS1N レンズ：80~200mm F2.8 絞り：f8 (プラス1EV補正) シャッタースピード：オート フィルム：フジRAP 撮影地：山梨県忍野



雪国を求めてのイメージどおりの出来! 急の雪のためボクもカメラも無防備でグシャグシャ。シャワーキヤップがふたつ欲しかった。
■カメラ：キャノンEOS1N レンズ：28~105mm F3.5~4.5 絞り：オート シャッタースピード：1/60秒 フィルム：コダックEPP 撮影地：山形県米沢



早朝の光が波濤を光らせ、冬の厳しい海を感じさせてくれる。単語にならないよう漁船を待っていたが、レンズに着いた飛沫をとるのが大変。保護フィルターを付けましょう。

■カメラ：オリンパスOM-4 レンズ：100mm F2.8 絞り：f8 (マイナス1EV補正) シャッタースピード：オート フィルム：フジRDP II 撮影地：千葉県銚子



白い舞台に見立てての撮影。木立の影は雲の出でいろいろな動きをみせてくれた。太陽は木立で少しだけ隠すと輝きを感じさせてくれる。
■カメラ：ミノルタα707 レンズ：28mm F2.8 絞り：f8 (プラス1EV補正) シャッタースピード：オート フィルム：フジRDP II 撮影地：山梨県八ヶ岳

カメラは 新連載 ライカ

第1回

田中長徳

ライカとつきあうことは楽しい
それはまた同時に写真の本質を学ぶことだ
第1回は、ライカはいかにして生まれたかを
I型からM3型までおさらいする

スタンダード
—運動距離計を装備したライカはまたたく間に世界最高の小型カメラとなった。—本文より
この写真はII型から運動距離計を省いたスタンダード。バルナック型ライカの完成形である。



IIIa型
—この頃、ライカはすでに高級カメラの代名詞になっていた。—本文より
IIIa型はIII型に1/1000秒を追加したモデル。



I型(A)
—最初は人気が出るというほどではなかった。「あんな小さいネガでちゃんとした写真が撮影できるわけがない」これが当時の一般の写真愛好家の考えだった。—本文より
市販された最初のライカ。日本ではA型と呼ばれている。

写真を撮ることは楽しい。
ライカで撮影するともっと楽しくなる。
私はすでにライカを友として30年だけど、
写真を撮影することに飽きることはない。
そこがライカの魅力である。
本誌のタイトル「フォトライフ四季」ではないが、日本のような四季折々の風物をそれぞれの色彩で撮影できるというのはこれは写真愛好家にとって最高の国だ。なぜライカが面白いのか、たとえば、カメラの進歩と無関係であるからだ、とここでは答えよう。
一見私は逆のことを言っているみたいだけど、それがライカの良いところである、その秘密はだんだんに解きあかして行くとして、世の中に目を転じてみれば、まず最近のカメラの進歩はすさまじい勢いである。私はプロ写真家になってすでに四半世紀を越えようとしているが、駆け出しのカメラマンの頃はまず露光が合って、色がちゃんとしているというのが至難の技であった。その基本だけを押さえておけば、写真家としては食える、という時代が昔は確かに存在したのである。世の中にオートフォーカスの一眼レフが登場した10数年前、あれはミノルタα7000であったか、あの時には写真家はバニックに陥ったものだった。なにしろ、それまで技術で撮影していた商売の写真が、いとも簡単に素人衆でも撮影できるようになってしまったからだ。これはプロ写真家を脅かす新技術だった。最近ではさらにAPSだ、デジタル写真だ、とプロ写真家とアマチュア写真家の間の溝というのはどんどん埋められている。昔みたい

Nikon



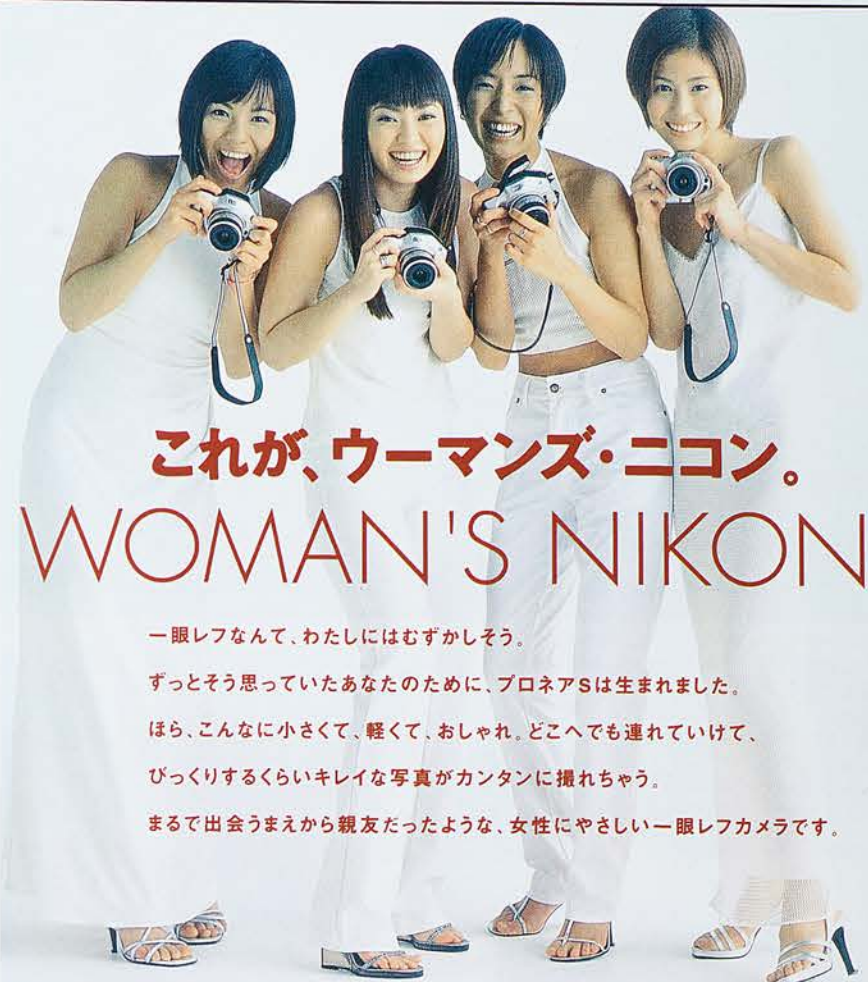
新発売

PRONEA S

APS AF一眼レフ / ニコン・プロネアS
希望小売価格 ボディ本体リモコン・ストロボ・一眼用レンズ(CK-11付) ¥54,000
税別
IXニッコール 30~60mm F4~5.6付 ¥74,000

■インターネットホームページアドレス <http://www.nikon.co.jp/photo/>
■NIFTY-Serveで「ニコソ・ステーション」を開設しています。「GO NIKON」でお気軽にアクセスしてください。
■カタログをご用意しています。機種名をご明記のうえ、100-8693 東京中央郵便局私書箱1269号 株式会社ニコン お客様相談室宛に請求ください。

Nikon 株式会社 ニコン 本社 100-8331 東京都千代田区丸の内3-2-3(富士ビル) 製品に関するお問い合わせは「お客様相談室」まで。電話(03)3216-1010 FAX(03)3287-0897



これが、ウーマンズ・ニコン。
WOMAN'S NIKON

一眼レフなんて、わたしにはむずかしそう。
ずっとそう思っていたあなたのために、プロネアSは生まれました。
ほら、こんなに小さくて、軽くて、おしゃれ。どこへでも連れていけて、
びっくりするくらいキレイな写真がカンタンに撮れちゃう。
まるで出会うまえから親友だったような、女性にやさしい一眼レフカメラです。

京セラ株式会社



CONTAX
Aria

●大き137(幅)×92.5(高さ)×53.5(奥行き)mm、重さ460g(電池別)の軽量コンパクト設計。(Ariaボディ)●CONTAX一眼レフ初の評価測光搭載。●マニュアルフォーカスを快適にする明るいファインダー。●設定自在のカスタムファンクション機能。●ストロボ撮影時の操作性を高めるオートセット機能。●最高速1/4000秒の高精度シャッター。●日付や露出データをフィルムに記録できるデータバックD-9装備。●メーカー希望小売価格/Ariaボディ:89,000円、AriaD(データバックD-9付)ボディ:132,000円(消費税抜き価格)

※Ariaボディは別売、AriaDボディは標準装備。製品写真はAriaにブラナー-T・50mm F1.4を装着したものです。
京セラ(株)光学機器事業本部 〒158-8610 東京都世田谷区玉川台2-14-9 TEL:03(3708)3114
©京セラインターネットホームページ<http://www.kyocera.co.jp/>

カメラは ライカ

日本からやって来た、逸来ゲストの為にバルナックがライカで撮影した写真を見せて熱演するライカアカデミーの館長ベルガーさんである。写真の風景はウエッツラー市の中心、アイゼン広場、今でもその光景は当時とまったく変わっていない。



ソルムスのライカミュージアムのオスカー・バルナックの仕事時の写真。これはあまりにも有名なポートレートだけど、やはり、ライカミュージアムの展示で見るのが本当だ。手前のカメラはバルナックが手がけた数々のライカの試作品。



1954年に発表されたライカM3はそれまでのライカの常識をくすがる革命的ライカだった。このブラックのM3には1963の表示があるが、これはこのカメラの生産された年代を示す。有名なライカツリーのクローニアツプである。

に技術だけで、「のほほん」としては居られない時代になってきた。ところでオートフォーカスの一眼レフにしてもコンパクトカメラにしても、ああいうカメラは35ミリフィルムを使用する。例の両側にパーフォレーションという穴が規則正しく開いているフィルムである。今でこそ、このフィルムは写真を撮影する感光材料の定番みたいな顔をしているけど、実は最初から存在していたのではなかった。このフィルムを使った元祖がライカなのである。もともと35ミリフィルムというのは映画からの借り物であった。エジソンが発明した35ミリ幅の映画フィルムをそのまま写真用にちよっと拝借したものである。そのちよっと拝借状態がすでに70年以上にもなってしまうという次第。

1925年のこと、ドイツで発売された金属製の真っ黒な小さいカメラがあった。その名前を「ライカ」と言った。聞き慣れない名である。そのライカというカメラはドイツはフランクフルトから北に40キロほど離れた田舎町、ウエッツラーのエルンスト・ライツという光学会社の製造した品物であった。ライツ社は当時すでに顕微鏡のメーカーとして著名であったが、その他に時代を先駆けた品物を開発していた。当時、到来しようとしていたクルマ社会に備えて、自動車に搭載するウインカー、いや、クルマが進行して右折や左折をする時に大昔は腕木のようなものを出していたけど、そういう関係の製品も開発したりした。当時のライツは新しいテクノロジーを開発する活気のある会社であった。ライカという小型カメラはそういうベンチャー企業の品物のひとつであった、ということになる。そのライカカメラは同社の技師オスカー・バルナックによって発明された。バルナックはライツ社に来る前には宿敵のライバルであるカール・ツァイス社に勤務していたのだから、当時、バルナックの優秀さを知ってライツ社はヘッドハンティングでもしたのであろうか？

バルナックは写真好きでウエッツラーの町の近郊を当時は普通のカメラであった蛇腹式の大きなカメラで撮影して歩いたが、もともと小型で軽量のカメラを欲していた。当時のライツ社は映画撮影機を開発もしていた。その映画撮影機というのは長いフィルムを入れるのだから、露出のチェックが出来ない。というのは当時はまだ電気露出

れるライン川が大水になったのを撮影した。これは世界最初の小型カメラによる報道写真であった。その写真は今でもソルムスのライカ本社に保管されている。今回、本稿を起すにあたって私は久しぶりにライカ本社を訪問してその写真を改めて見たけど、そこにはライカの携帯性がなければ写せないリアリティがあった。バルナックの才能はここに開花したのだ。

そのバルナックが製作した映画のテスト用カメラが、一般の写真撮影に使用でき、しかも商売になる、ということを見越して生産を判断したのはライツ社の社長、エルンスト・ライツの先見の明であった。

ライカカメラは1925年に発売されたけど、最初は人気が出るというほどではなかった。「あんな小さいネガでちゃんとした写真が撮影できるわけがない」これが当時の一般の写真愛好家の考えだった。最初の数年はライツ社は実際のネガからこれだけ大きなプリントが出来る、という宣伝に力をそそいだけど、どうしてどうしてそんなことで今までの常識がくつがえせるものではない。

転機は1932年に訪れた。ライツはライカII型を発表した。このライカII型には連動距離計がついていた。つまりライカのボディ上に距離計が搭載され、撮影者はカメラの距離計をレンズを回して距離を合わせる自動的ピンントが合うというものがある。当時はこれを「オートフォーカス」と呼んでいた。それほど画期的な技術であったのだ。連動距離計を装備したライカはまたたく間に世界最高の小型カメラとなっ

た。報道関係、芸術写真家、探検家、科学者などがつぎつぎとライカユーザーになった。ライカにとつてこれは最高の宣伝効果である。ライカは次々に新型を発表、1939年にはそれまでの板金加工の古い製作方法から近代的なダイカストのシャーシを持ったボディになった。ライカIIIである。このモデルは戦後、リンクロ接点がついたライカIII Fに引き継がれ代表的なライカになった。この頃、ライカはすでに高級カメラの代名詞になっていた。

1954年、ドイツはケルンのフォトキナでライツ社はそれまでとまったく異なる新型ライカを発表した。ライカM3である。それまでのスクリーンマウントから大型パヨネットマウントになり、迅速なレンズ交換を可能にし、しかもレバー式の迅速巻き上げ機構を備え、ファイナダーは各種のブライトフレームが使用するレンズに同じ自動的に出現、しかもパララックスは自動で補正された。このライカM3が現代のライカM6、そしてすでにライカ社の研究ラボでは用意され、デビューを待っている筈!?のライカM7の源流となった。

さて、次号ではそのライカMモデルの魅力について展開して行こう。



ライカ生誕の地、ウエッツラーは丘に囲まれた美しい風景が広がる。特にライン川にかかる石橋はヨーロッパでも有数の古さとか。この川の洪水をバルナックのライカは撮影し、ライカのルポルタージュカメラとしての方向を決定づけた。



たなか ちょうとく
1947年東京生まれ、日大写真科卒。日本デザインセンター勤務の後、1973年からフリーランス写真家に。ウィーンに8年間、ニューヨークに1年間滞在。東京、ウィーン、ニューヨークなどで個展多数開催。著書写真集多数。最近クラシックカメラのエッセイの仕事も多い。日本写真家協会会員。

楽しい、かわいい、傑作ショット大募集!

第4回

ペット・動物 作品募集 ふれあい写真コンテスト

賞金・
賞品総額

150万円

募集テーマは、
ペット写真・動物写真及び
動物と人のふれあい写真

グランプリ	賞金10万円と楯	1名
最優秀賞	賞金5万円と楯	5名
優秀賞	賞金3万円と楯	10名
佳作	賞金1万円と楯	25名
入選	記念品と楯	300名

募集期間

平成10年12月15日(火)~平成11年2月28日(日)
カメラのキタムラ店頭または事務局必着

※詳しくは、12月中旬よりカメラのキタムラ店頭にて設置されるポスター、または応募用紙をご覧ください。

RICOH

高次元の描写力。



GR1sの主な特長 ●GR LENS 28mm F2.8は、非球面レンズ採用、4群7枚オールガラスのマルチコーティングで優れた描写力 ●暗い状況下での撮影にとっても便利な光る情報パネル ●逆光時の撮影に重宝する本格的な花型フードを装備 ●ナチュラルな画像を生むディストーション性能の良さ ●ニュートラルな発色のCCI 分光透過率 ●高精度7ゾーンバツプ方式マルチオートフォーカス ●美しいボケ味のために考慮された7枚構成のレンズ 絞り羽根 ●シンプルで明るいブライトフレームファインダー ●絞り優先AE ●露出補正ダイヤル ●主な撮影モード: フラッシュ強制発光モード(日中シンクロ/ローシンクロ可) ●フラッシュ発光禁止モード ●オートフラッシュモード ●遠景モード ●シングルAF(LV6以上中央重点測光)モード ●スナップモード ●フォーカス固定モード ●赤目軽減モード ●セルフタイマーモード ●タイムモード等

GR1s

(ボディカラー: ブラック/シルバー)
●メーカー希望小売価格(フード・革ケース込)
GR1s.....¥95,000(税別)
GR1s DATE.....¥105,000(税別)

リコーカメラお客様相談窓口 リコーカメラについてご意見・ご希望がございましたら下記までご連絡ください。

〒104-0061 東京都中央区銀座6-14-7 株式会社リコー パーソナル事業部
●受付時間 月曜から金曜/9:30~17:00
●土曜・日曜・祝日はお休みさせていただきます。

優秀賞受賞
「母子(おやこ)」森田和雄様(埼玉県)
お母さんのワンちゃんは牛乳を飲んで、
子供のワンちゃんはお母さんのお乳を飲んで、
ほほえましい作品ですね。



優秀賞受賞
「冬の帰り道」和田 浩様(北海道)
睡がキラキラしていて元気がワンちゃんですね。
うれしそうに走っている姿が、作者と
ワンちゃんの仲のいい感じが伝わります。



最優秀賞受賞
「ひととき」山本浩二郎様(山口県)
ネコちゃんと女の子が同じ表情をしている
のかわいい。ネコちゃんが全然いやがって
いないところが仲のいい証拠です。



優秀賞受賞
「桜の頃」中塚ヤスヒロ様(岡山県)
一面の桜の絨毯の上を、ご主人とまるでお話も
しているかのように見上げているワンちゃん。
ほのぼのとする作品ですね。

優秀賞受賞「ペンダー」につつまれて...
小畑圭一郎様(北海道)
色鮮やかなワンちゃん、愛嬌のあるワンちゃん、
顔のコントラストがとってもいいです。ご主人と
一緒にしゃべりながら撮るといいですね。ご主人と
このワンちゃん、は写真が好きなのかせ。



カメラのキタムラ

ペット・動物ふれあい写真コンテスト 受賞作品誌上 展覧会



最優秀賞受賞
「愛馬と...」高松保彦様(群馬県)
犬や猫と同じように、馬も古くから人間とつきあってきた
動物です。「愛馬」と言うように、おじいさんがこの馬を
本当に愛していることがよく伝わってきます。



グランプリ受賞
「僕と遊ぶつよ」石川 昇様(香川県)
ボクとワンちゃんの視線が交わされた心優しい作品です。
見ているこちらまで暖かい気持ちになっちゃいます。



最優秀賞受賞
「ねこちゃん、あそぼ」正田孝夫様(群馬県)
小さな女の子とネコちゃんのふれあいをとらえた可愛い作品。
ネコちゃんは遊んでくれたかな?



最優秀賞受賞
「夫婦愛」三上利美様(北海道)
サルは表情が豊かなのですが、自然のサルは凶暴なので撮影は
難しいです。シャッターチャンスを手早くとらえた作品ですね。



最優秀賞受賞
「浜辺の詩」喜多昭弘様(兵庫県)
逆光を利用した詩情豊かな作品で、このコンテストの中では
異色の作品です。

今年もカメラのキタムラが主催する「ペ
ット・動物ふれあい写真コンテスト」の作
品募集の季節がまじりました。このコンテ
ストも今年で第4回。回を重ねるごとに作
品の質が上がってまいりまして、今年ほど
んな素晴らしい作品が寄せられるだろう
かと、キタムラの社員一同、心待ちにして
おります。

そこでキタムラでは、作品を寄せられ
る皆様の参考になればと考え、過去の受賞
作品の一部を、フォトライフ四季の誌面を
借りまして掲載させていただくことに
いたしました。いずれも劣らぬ名作揃い。愛
くるしい動物たちと人とのふれあいが伝
わってくる、優しさあふれる作品ばかりです。

読者の皆様も、これを機会にお家のワ
ンちゃんやネコちゃんにカメラを向けて
みてはいかがでしょうか。もちろん、動物であ
ればペットでなくても構いません。公園の
鳩や庭先に遊びに来た野鳥、軒先で気持
ちよく寝ている猫、牧場の馬など、気をつ
けて見回してみれば、被写体はたくさんあ
るはず。風景写真とはひと味違った写
真の楽しさが見つかるとおもいます。も
しも、これはと思う作品ができましたら、
ふるって「第4回ペット・動物ふれあい写真
コンテスト」にご応募ください。

※写真のコメントはキタムラの社員によるものです。

OLYMPUS
人から発想します。オリンパス

い、する。



私の撮りやすいカタチ

私の大切なものを、私らしく撮りたい。
そんな気持ちにこたえて生まれた、
オリンパス i-ZOOM 75。
「小さい」と「撮りやすい」を両立させた
横長フォルムの超小型・軽量APSカメラです。
パールロゼカラーのボディにひそむ、
繊細な美しい描写力。
どこへでも連れていって、
感じるままに、iしてください。

誕生



● 28~75mm・2.7倍ズーム ● 生活防水
● マルチバッシュAF ● 2.5秒・クイックチャージフラッシュ

アイズーム75
i ZOOM 75

標準価格(税別) 50,000円 (リモコン・ケース・ストラップ付)

PENTAX



EISA
ヨーロッパ・プロフェッショナル
カメラ・オブ・ザ・イヤー'98-'99



CAMERA
GRAND PRIX '98
カメラグランプリ'98



TIPA
ベスト・プロフェッショナル・
プロダクト・イン・ヨーロッパ1998-'99

ペンタックス645Nが、世界3大カメラ賞を受賞しました。

カメラグランプリ'98に輝いた645Nが、さらにヨーロッパの
2大タイトルEISAとTIPAを受賞しました。「中判一眼レフ
カメラで世界初のAFシステムを搭載。さらに使いやすい
ダイヤル式操作系を採用するなど、撮る楽しさをすべて
(プロの高画質を、すべての写真ファンのものに。— 645N)

AFスーパーフィールドカメラ

645N

ボディ希望小売価格(税別) 300,000円
FA645 75mm F2.8 希望小売価格(税別) 60,000円



中判は
ペンタックス
645N&67II

カメラグランプリ実行委員会
カメラ記者クラブ
アサヒカメラ カメラ年鑑 カメラマン CAPA
コマースフォト 四季の写真 写真工業 日本カメラ
日本フォトコンテスト フォト・テクニック 風景写真

旭光学工業(株)・ペンタックス販売(株)

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1ペンタックス販売(株) インターネットホームページ <http://www.pentax.co.jp/>



「防風林と大地のPATCHワーク」まさしく十勝の代表的な風景だと思います。
■カメラ：ニコンF401S レンズ70~210mm 絞：f18 シャッタースピード1/125 フィルム：フジG400



「峠の曙」日勝峠からの感動のひとコマです。
■カメラ：ニコンF90 レンズ300mm テレコン2倍 絞：f14 シャッタースピード1/4 フィルム：フジG400

ぶらり
わが街

【帯広・十勝】

北海道帯広市
柴田哲見さん

カメラのキタムラのネットワークは北海道から沖縄まで日本全国にわたっています。このネットワークを活かして、お客様に地元の名所などを紹介していただくのがこのコーナーです。今回は第2回ペット・動物ふれあい写真コンテストに優秀賞に輝いた帯広市在住の柴田哲見さんにご登場いただきました(カメラのキタムラ帯広・白樺通り店) 辻博希。

私が帯広に住んで12年。とくに近年の帯広駅周辺における市街地整備は年々、目を見張るものがあります。しかしながら一歩郊外に足を延ばしますと、牛が牧草地に横たわり、目を転じればトラクターが広大な農地を二日中走り回るなど、自然を満喫することができます。爽快な緑の季節があり、また12月から4月の間は白一色の大地と蒼い空の晴天日が続き、この四季の変化を堪能させてもらっています。

私のネイチャーフォトはとりわけ極寒(マイナス20度以下)の自然を撮るのが好きです。普段は愛犬との散歩の機会にベツト写真を撮影しています。ネイチャーフォトファンの皆様、十勝自然ランドはいつでも、あなたのカメラアイを待っています。

「グリーンパーク」帯広市の中心部にあるグリーンパークは、ペットの散歩コースでもあります。
■カメラ：ニコンF4 レンズ180mm 絞：f11 シャッタースピード1/125 フィルム：RDP-II



「フンへの滝」真冬になると海沿いの滝も凍ります。
■カメラ：ニコンF401S レンズ28~80mm 絞：f11 シャッタースピード1/30 フィルム：RDP-II



「白鳥飛来」市の東側、千代田堰堤付近は毎年、多数の白鳥が羽を休めます。
■カメラ：ニコンF90 レンズ300mm 絞：f11 シャッタースピード1/60 フィルム：RDP-II



「-20℃」2月の十勝川、天気予報で最低-20℃以下と聞いて前日から準備し、日の出前に出掛けました。
■カメラ：ニコンF90 レンズ28~80mm 絞：f11 シャッタースピード1/4 フィルム：RDP-II

柴田哲見氏
6年前に海外出張のときに、ニコンF401Sを入手して以来の写歴。厳冬の北海道を撮り続け、寒い朝の愛犬を撮影して第2回ペット・動物ふれあい写真コンテスト優秀賞受賞。ヘリコプターからの空撮も手掛けている。



佳作 (30名) 賞金1万円と楯



入選 (300名) 記念品と楯

- 北海道
 - 菊池 育(札幌市)「ふれあい」
 - 武内直也(札幌市)「はなちょうちん」
 - 大塚俊郎(札幌市)「ちなみ」
 - 笠木佳奈(札幌市)「ちよめた〜い」
 - 高橋美穂(帯広市)「ウオーターライダー」
 - 小杉晃弘(帯広市)「ほくのガーディニング」
- 青森県
 - 大谷岩雄(弘前市)「姉妹」
 - 須藤真紀(弘前市)「お水だいすき。」
- 秋田県
 - 新堀修一(秋田市)「キャンプの朝」
- 岩手県
 - 齋藤ミヨ子(花巻市)「ほく、こども鹿子だよ」
 - 佐々木良一(紫波郡)「伝統を継ぐ」
- 宮城県
 - 宮浦広美(石巻市)「兄弟」
 - 高橋まり(石巻市)「まなざし」
 - 佐藤義孝(黒川郡)「いっしょに遊ばない?」
- 山形県
 - 高橋佳志(山形市)「ほったーい」
 - 加藤直美(米沢市)「ママのいじむら」
 - 神尾 彰(米沢市)「上手でしょ」
 - 日野 鈴(東村山郡)「笑顔(えがお)」
- 福島県
 - 高橋勝俊(福島市)「犬と僕」
 - 萩野仁志(福島市)「おひるね」
 - 小寺敏雄(伊達郡)「楽しい夏休み」
 - 小寺礼子(伊達郡)「ほくは大地の子」
- 新潟県
 - 福本清彦(新潟市)「お盆」
 - 岡田昭彦(三条市)「曇ん」
 - 矢川 聡(南蒲原郡)「は〜い、メロン」
 - 刈田栄一(南蒲原郡)「夏休み」
 - 土田健司(西蒲原郡)「女ターザン」
 - 細田正孝(西蒲原郡)「あれー、何かなー」
- 富山県
 - 水野民子(富山市)「お料理」
 - 北川剛彦(富山市)「はじめての梅ほし」
 - 沢田 実(高岡市)「兄弟」
 - 飛木博昭(高岡市)「フェイス」
 - 脇田幸子(高岡市)「タレント気分」
- 石川県
 - 羽柴裕美(金沢市)「おもしろいのがたれよ」
 - スタッフ ジョン マイケル(河北郡)「くじら乗り」
- 群馬県
 - 山田 豊(太田市)「弟よ 覚悟」
 - 西巻啓吉(太田市)「ローラースケート中」
 - 河合康二(太田市)「水遊び」
 - 中島真一(太田市)「スイカわり」
 - 中村寿美枝(新田郡)「洗濯」
 - 斎藤淑子(邑楽郡)「祭りの主役」
 - 平野祐吾(館林市)「さんぽ道」
 - 増谷直子(館林市)「砂の中に入ったよ」
 - 深町裕一(伊勢崎郡)「電車ごっこなな〜」
 - 石田 匡(勢多郡)「僕とお姉ちゃん」
- 長野県
 - 角南俊文(松本市)「陽光の中」
 - 伊藤正一(松本市)「はだか祭り」
 - 井上恭男(松本市)「私はシンデレラ?」
 - 原田敏春(松本市)「ワーツ」
 - 高橋 清(松本市)「泣き虫弟」
 - 久保村 勝(伊那市)「水辺のつみ草」
 - 久保村 由人(伊那市)「帽子に一杯」
 - 武内洋文(佐久市)「サカイクン、こんばんは?」
 - 坂口 孝(小県郡)「こわいよー」
 - 佐藤信一(下伊那郡)「水中メカゴ」
 - 栃木県
 - 佐藤忠夫(真岡市)「いい顔」

キタムラホームページ <http://www.kitamura.co.jp> ※上位入賞作品は、キタムラホームページ上でもご覧いただけます。

まぶしい笑顔、大募集!!
第6回チビッコ写真コンテスト



応募総数 約10,000点

入賞作品発表!

主催: カメラのキタムラ 協賛: 富士写真フイルム(株)

「第6回チビッコ写真コンテスト」にたくさんのご応募ありがとうございました。約10,000点の応募総数の中から見事に入選された方々をここに発表させていただきます。

総評: チビッコ写真コンテストも第6回と回を重ねて、毎年応募されてくる作品の質が上がっています。特にポイントのつかみ方が上手になってきたと思います。作者の狙いがはっきりしているので一枚一枚に個性があり、その場の状況がよく分かります。ほほえましい作品が多く、応募していただいた作品のそれぞれの子供たちのとてもいい記念になるでしょう。審査には苦労しましたが、生き生きとした子供たちの、たくさんの笑顔が拝見できましたので、楽しい審査ができました。



最優秀賞 (5名) 賞金5万円と楯



優秀賞 (10名) 賞金3万円と楯



キタムラホームページ <http://www.kitamura.co.jp> ※上位入賞作品は、キタムラホームページ上でもご覧いただけます。

カメラのキタムラ

グランプリ(1名) 賞金10万円と楯

「ウワーツ」
吉岡直樹 (島根県簸川郡)

寸評: 無駄のない画面構成でスピード感がよく出ています。子供たちが自然の風を受けて心地よく滑り降りてゆく表情をよくとらえ、バックの広がり開放感を感じさせてくれます。広々とした自然の中で全体で遊ぶ子供たちの様子が躍如と伝わってきます。



よしおか なおき / 1953年島根県生まれ。4年前から本格的に写真を撮りはじめ、すでに約30枚もの入賞実績を持つ。キタムラでは「ペット・動物ふれあい写真コンテスト」「全国春の花フォトコンテスト」と立て続けに入選している。写真活動のテーマは子供を自然に写すこと。全日本写真連盟平田支部所属。

「フールクイーン」
大原つや子(愛知県岡崎市)



「逃げちゃダメ!!」
森弘明(三重県多気郡)



「おはなし」
榎田幸夫(兵庫県神戸市)



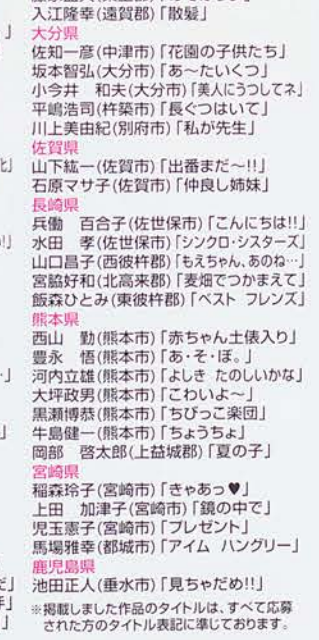
「おはなし」
榎田幸夫(兵庫県神戸市)



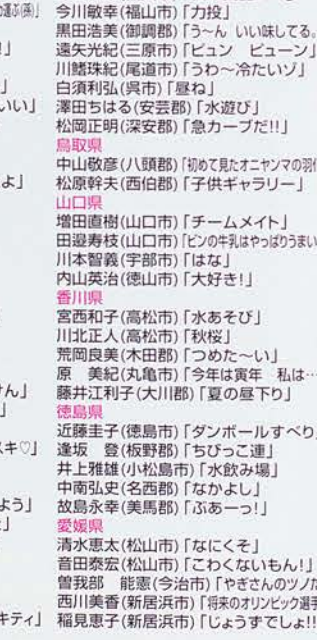
「ヤッホー」
松葉 隆(大阪府東大阪市)



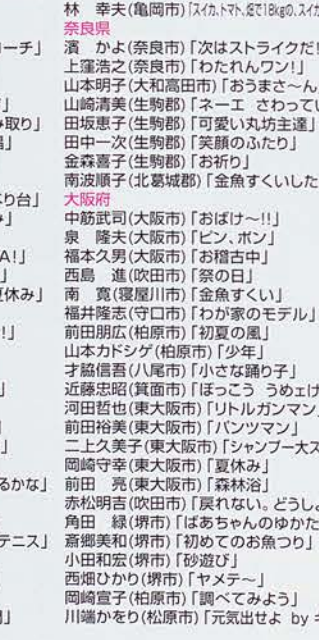
「おはなし」
榎田幸夫(兵庫県神戸市)



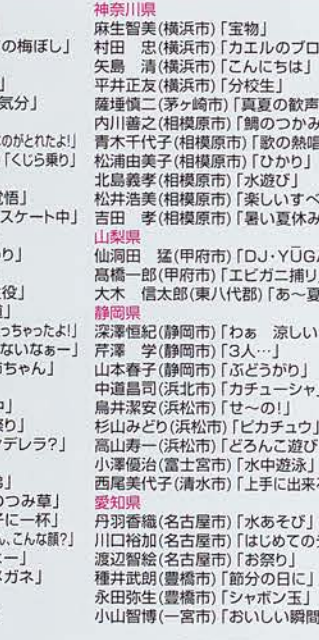
「おはなし」
榎田幸夫(兵庫県神戸市)



「おはなし」
榎田幸夫(兵庫県神戸市)



「おはなし」
榎田幸夫(兵庫県神戸市)





本橋庄一郎様・大阪府「ひと休み」
写真が好きな二人なのか。首から下げた自然に大きなカメラが、かえって子供のかわいらしさを引き出しています。おや、このカメラは…あなどれません。



山岡勸仁様・愛媛県「田植えだ」
これならドロコになってもお母さんは怒りませんよね。泥の感触が楽しいのと、ちょっぴり気持ち悪いのと、そんな複雑な気持ちが子供の表情によく出ています。



黒田知代様・兵庫県
「川あそびのあと ついておいで」
こういう作品を見ていると、子供っていいなあと思ってしまう。大自然に育つ健康的な美しさが輝いていて、見ているこちらまで気持ちよくなってしまいます。



杉野節子様・高知県
「マイ、ベット」
小さな小鳥と女の子との、ほのほとした交流がよく伝わってきます。背景の花の群生が効果を増していますね。



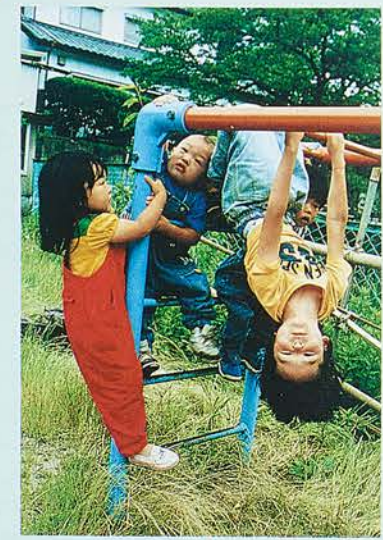
古米昌子様・三重県
「私もフイギアスケート選手だよ」
子供の身体って本当にやわらかいですよね。これならフイギアスケートの選手も夢じゃない！でも、気をつけないと転んじゃうぞ。



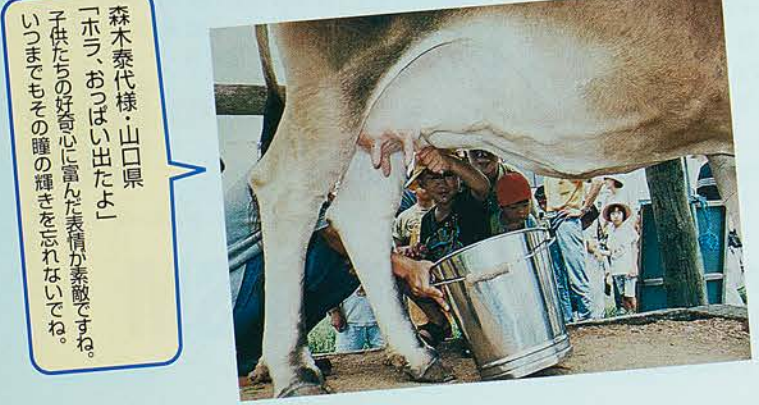
南理恵様・埼玉県「ガブリ」
腕を噛んでいるワンちゃんの目が優しいので、本気じゃないのがすくなくわかります。心をゆるめている者同士だからこそ、こんなシーンが撮れるのでしょう。暖かさが伝わってくる作品です。



安枝樹三代様・滋賀県
「キヤンティと二緒」
子供よりお父さんの方が楽しそう。仲のよい親子なのですね。とほけたワニちゃんの表情が楽しい。



古庄和也様・福岡県
「イエ〜イ」
本当に「イエ〜イ」という声が聞こえてきそうです。ポーズをつけたところが、とてもかわいし。



森木泰代様・山口県
「ホラ、おっぱい出たよ」
子供たちの好奇心に富んだ表情が素敵ですね。子供たちでもその瞳の輝きを忘れないでね。

北本 修様・石川県
「世の中、逆さま」
誰でも一度は、こうして逆さまにぶら下がったことがあるのではないのでしょうか。その逆さまになった時の懐かしい感触を思い出させてくれるような作品ですね。



河内山愛子様・福岡県「水遊び」
これは楽しい水遊びのワンショット。元気でヤンチャな娘さんが、作品いっぱい広がって伝わってくる素敵な作品です。



関崎晶子様・新潟県「わ〜海のよう!」
作品のきれいな構図と二人の子供たちが、不思議な対比を見せています。でも、子供はやっぱり元気に構図からはみ出してしまうんですね。それが楽しい。



岸 美喜雄様・群馬県「へそ祭りの準備」
へそ祭りで、自分のお腹にキティちゃんを画いてもらったんですね。うれしくてしかたないのでしょう。笑顔が輝いています。



本多万次郎様・東京都「仲よし」
キャッキョとはしゃぐ子供たちの声や、元気に弾む息づかいまで、ちゃんと伝わってきます。構図がきれいですね。

第6回チビッコ写真コンテスト

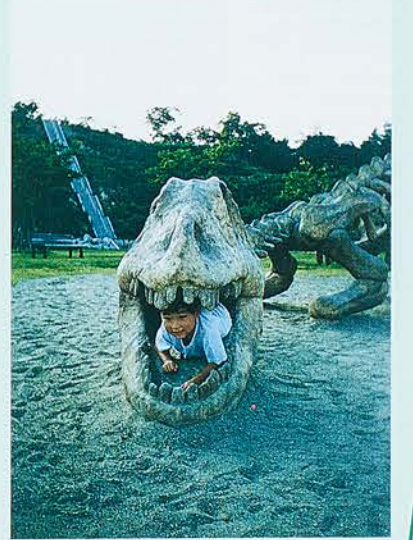
キタムラが選んだ

おもしろチビッコ写真館

「第6回チビッコ写真コンテスト」にたくさんのご応募ありがとうございました。今年も全国からたくさんの元気なチビッコたちの作品が集まりました。入選を逃した作品の中には、惜しい作品もたくさんありました。そこで、この場を借りて、キタムラの社員が審査員である沼田早苗先生よりアドバイスをいただきながら、惜しくも入選を逃した作品の中から独自に選び、コンテストとは異なる観点から、寸評を添えて発表いたします。



上田 亨様・山口県
「立っ! TOUCH!!」
あらあら。大きくなってからこの写真を見せたら、きっとみんなで大笑いすることでしょう。本当に楽しい作品です。



長尾瑠美様・徳島県「こんにちは」
子供は狭いところに入って遊ぶのが好きなんです。口の中で遊んでいる子供と、正面を向いている恐竜のユーモラスな表情の対比が楽しい。



真島和美様・山形県
「ガオーツ!!」
オリの向こうのかわいい野獣! 元気な兄弟(?)ですね。大きな声がちやにまで届いてきそうです。



蔦久彰様・岡山県「大浪が来た」
まるで生き物のように湖の花が包み込んで、気持ちよさそう! ファンタスティックな作品です。

プリント特集

— 生活のなかで写真を楽しもう —



主なプリントの種類

- | | |
|-----------------|--|
| 大伸しプリント | ダイレクトプリント |
| ポストカード | ダイレクトクリスタル |
| シールプリント | RPポストカード |
| カレンダーフォト | RP手作りポストカード |
| パズルプリント | RPカレンダー |
| ネガフィルム | RPパノラマ |
| テレフォンカード | |
| クリスタルプリント | 白黒フィルム — 白黒プリント・大伸しほか |
| 写真名刺 | |
| パノラマプリント | その他 — フィルムがなくてもプリント可能
(プリントからプリントができます) |
| セピアプリント | デジタルデータからプリント |
| その他
(ラッシュなど) | |

映像の総合ショップであるカメラのキタムラでは、撮影したフィルムから30分までできるスピード仕上げや写真で送るポストカード、部屋に飾ると写真がより引き立つ大伸しプリントなど、様々なプリントを加工・販売しているほか、フィルムだけでなく、デジタルカメラで撮影したデジタル画像データなどにも対応できる体制を整えています。さらにこうしたプリントを通じて、お客様が撮影された写真を生活の中でより楽しく、また様々な形で活用されるように提案もしています。そこで、お客様の大切な写真をもっとすてきにエンジョイするためのさまざまなプリントと活用方法を、キタムラの写真担当である武川泉、プリント品質担当の雑賀茂樹、プリント用品担当の村井和博のコメントをまじえながらご紹介いたします。

お部屋に写真を飾って 楽しいフォトライフを

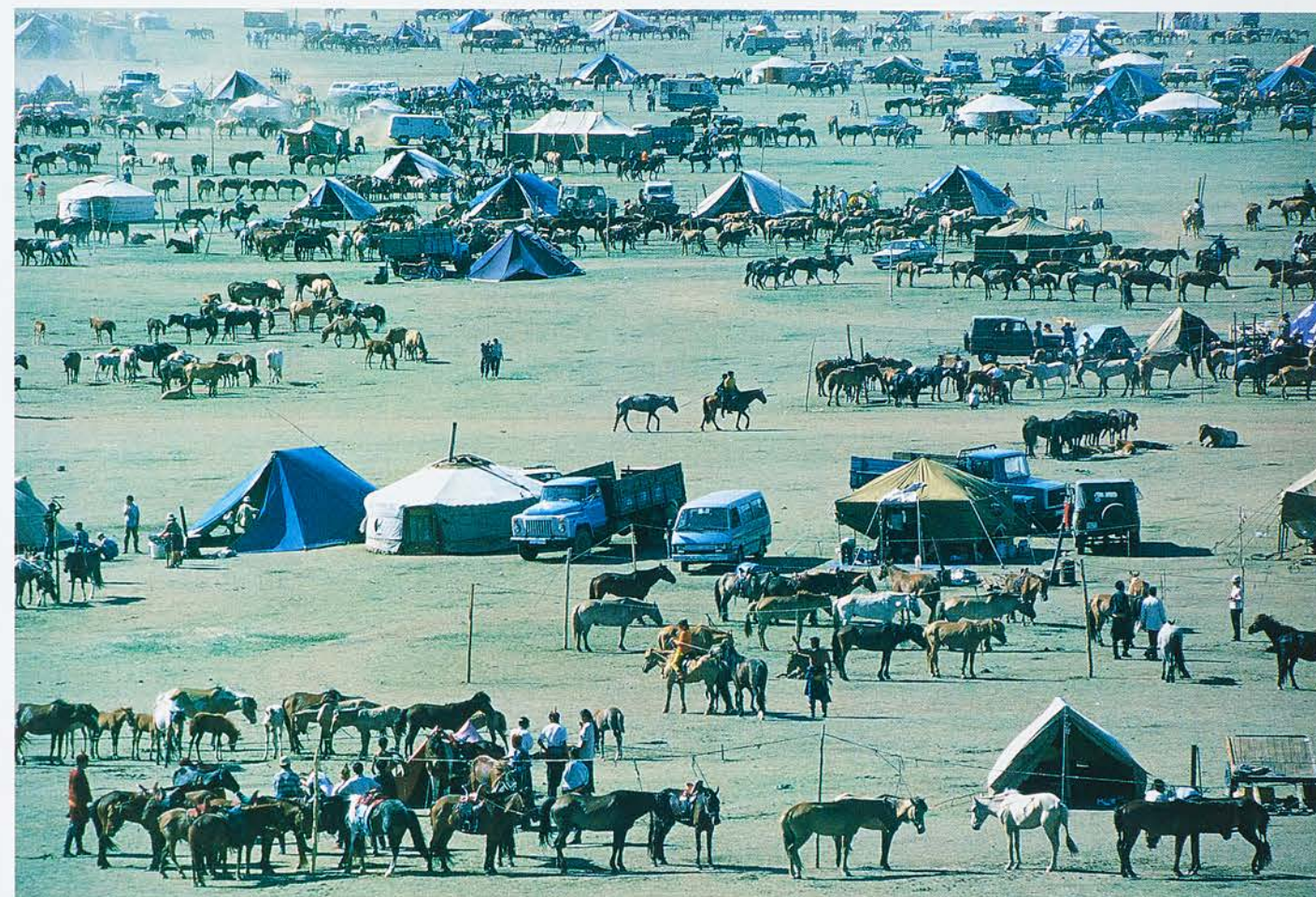


左から村井、武川、雑賀

一般のご家庭では、写真はアルバムや机の中にしまわれていることが多いのではないのでしょうか。しかし最近では、様々な形で写真を飾る人が増えていて、旅先の景色や思い出を飾ったり、お子様の写真を大きく伸ばして玄関などに飾っているところをしばしば見受けられるようになってきました。もちろんご家庭だけではなく、職場や車の中にも飾って、空間を上手に使うようになっておられます。

写真を飾る方法としては、代表的なものでは額縁、写真立て、マットパネル、ピンで貼るなどのほか、ちょっとした写した写真時計もあります。机の上に置くのか、壁に掛けるのかなどの理由でいずれか選ぶことになるでしょう。

手軽な方法として写真立てがどこにでも



OUR WORLD

チンギス・ハーンの時代から何も変わらぬ風景が、そこにあった。モンゴル、ナーダム祭。
小林正典/1949年京都市生まれ。世界の子供難民など、ドキュメンタリーを中心とした創作活動を展開。
1994年国連写真家賞受賞。現在、フリーのフォトジャーナリストとして活躍する。
撮影データ：シグマAPO70~200mm F2.8 EX HSM、1/500秒、F8

小林正典が世界を撮ったとき、手にしていたレンズはシグマだった。

NEW



古来から、草原に点在して暮らす騎馬の民。年に一度の祭りに集う彼らの姿を、シグマが捉えた。操作性と機動性が魅力だ、と小林氏。超音波モーター内蔵で、高速性と静粛性を実現。しかも、全ズーム領域でF2.8という明るさ。各焦点距離とも絞り開放から画面周辺まで、群を抜く画質。ズームングやフォーカシング時にも全長が変わらず優れたホールディング性を発揮。偏光フィルターの使用も容易。着脱式三脚座を装備した高性能望遠ズーム。

●シグマSA用、キヤノンEOS用、ニコン用希望小売価格(税別):140,000円 ●ミノルタ用、ペンタックス用希望小売価格(税別):130,000円 ミノルタA用およびペンタックス用のAFはボディ内モーター駆動 ●各商品には着脱式三脚座、ケース・パーフェクトフード付

専用テレコンバーターでAF速度を損わずに超望遠に。専用の1.4倍および2倍のAPOテレコンバーターを用意。高速対応のマルチマウントを装備、AF速度を損なうことなく高速・静粛のAF超望遠レンズとして使用できます。ネイチャーフォトやスポーツなどの撮影に威力を発揮。

NEW



●APOテレコンバーター-1.4×EX
希望小売価格(税別):24,000円

NEW



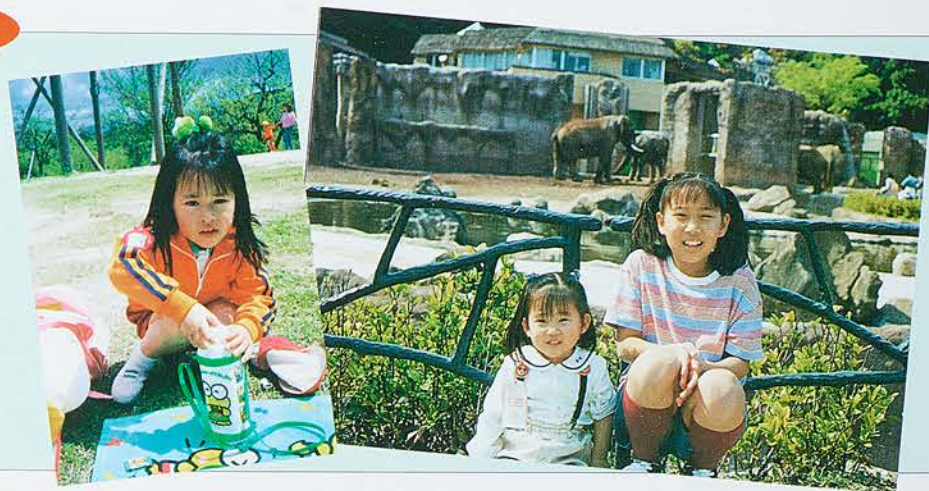
●APOテレコンバーター-2×EX
希望小売価格(税別):27,000円

SIGMA APO70-200mm F2.8 EX HSM

お問い合わせは、株式会社シグマ 〒201-8630 東京都江東区岩戸南2-3-15 tel.03(3480)1431まで。

サービスプリント

安価でスピーディに仕上がるプリントで、最短30分で写真ができます。アルバムに貼るだけでなく、タンスや整理箱の中身を写真にして貼ったり、車に「パパ安全運転でネ」とコメントを入れた家族写真を飾るなど、便利で応用範囲の広いプリントです。もちろん、ミニ額縁で机上に飾ったりもできます。



壁に写真があるとイメージが随分違います。



マグネットボードを使えば簡単で時間もかかりません。

置けますから便利でしょう。しかし、大きく飾るとなると、額縁やパネルになります。写真を上手に飾るコツは気楽に考えることです。写真の上手・下手は度外視しましょう。写真は誰にでも撮れるのです。子供が撮った写真でも気楽に飾ることをお勧めします。

**せっかく撮った写真を
タンスにしまってくださいませんか。**

キタムラ 写真担当 武川 泉

キタムラは映像の総合ショップとして一般の写真銀塩写真からデジタル画像まで、あらゆる映像を扱っていますが、それぞれの分野で専

門化を図っており、品質面では最高レベルを維持できる体制をとっています。また、そうした一方で、生活の中で映像の楽しさ、おもしろさを知っていただくために様々な展開を行っています。アルバムに写真を保管するだけでなく、飾ったり、応用したりできるように提案もさせていただきます。一枚のフィルムから応用が可能で(25ページの表を参照してください)、写真は早く仕上がり、とても安価なものです。いろいろな使い方で生活に潤いを与えてください。せっかく撮影した写真をタンスに眠らせていませんか。写真の楽しさは無限といっています。楽しむ道具もたくさんあります。カラーフィルムから写真にするだけでなく、デジタルデータからも写真ができるようになり、記録媒体の違いから写真や映像を楽しむ範囲が広がっています。さらにカラーコピーとのドッキングで、ビクトロでOHPにコピーすれば、バックからライトを当てることが出来るフォトライトボックスのようなものも現れ、新たな写真の楽しみ方も増えてきています。キタムラで扱っているプリントやそれに関連するツールや楽しみ方、利用の仕方を順次、紹介していきますので、それを参考に、より生活に密着したフォトライフをお楽しみください。

こんな場所にはこんな写真を

どこに飾ろうか迷われるようでしたら、とりあえず玄関、リビングルーム、子供部屋、和室、応接室、寝室、台所などに飾ってみてください。それぞれにふさわしい写真があることにお気づきでしょう。例えば玄関はお客様の出入りがあり、家族も頻繁に利用する場所、家の顔になります。格調高い写真もいいのですが、家族のポートレートなどはいかがでしょうか。帰ってきた時にホッとするのはいいでしょう。また、季節の花の写真も良いでしょう。大きく飾るよりさりげない飾り方が向いているでしょう。

リビングルームでは家族がごんだり、接触する場所ですから、それに合わせて子供の写真や家族の笑顔など、気軽に眺められる写真がいいでしょう。家族が訪れた美しい景色や海や山もいいですね。写真のサイズは大きめが楽しく、暖かみのある雰囲気を作ってくれます。

子供部屋では子供自身の笑顔や活発に遊んでいる写真もいいのですが、人間味を豊かにする写真、例えば花やきれいな景色とか、情緒を安定させる写真などもお勧めです。



家族で騒ぐ部屋は楽しい写真を……

いた草花や景色が向いています。複雑な写真よりもシンプルな方が無難です。また、応接室はお客様を接待する場所ですので、愛犬などのペット写真を飾ってお客様の心をなごませてみてはいかがでしょうか。

**キタムラでは写真の品質を
徹底的に重視しています。**

キタムラ プリント品質担当 雑賀 茂樹

キタムラでは昔から写真の品質に限らず、扱い品目についても厳しい姿勢で臨んでいます。写真の品質については各店でプリント処理を行い、お客様に時間サービスが行える体制を整えましたので、より厳しい管理を行っています。サービスサイズの写真は、キタムラのほとんどでミニラボという機械を使用して処理してい

プリント関連用語ミニ事典

- **DPI**
Dタイプヘッドメント、現像の意
P(プリント)、焼付けの意
E(エンラージメント、拡大引伸しの意)
- **同時プリント**
お客様が撮影したフィルムを現像と同時にプリントに仕上げることです。
- **現像のみ**
お客様が撮影したフィルムを現像だけのことです(プリントにしません)。
- **焼増し(NP)**
同時プリント後、お客様から現像済フィルムをあすかり、あらためてご希望のプリントをすることです。
- **サービスサイズ**
一般的なプリントで同時プリントはほとんどがこれです。当社のサービスサイズはLサイズ(L判で、大きなサイズになっています)です。
- **原版**
現像済のフィルムそのものの呼称で、原版からコピーしたものがデューブ(後述)です。
- **手焼き**
ほとんどのプリントは自動で機械が使われるのに対し、人間が色調や濃度を調整して引伸し機でプリントにすることをいいます。
- **トリミング**
景色の邪魔な部分を取り除いたり、ある部分だけを大きくしたい時に使われる手法です。
- **ネガカラー(ネガカラーフィルム)**

もっともポピュラーなフィルムで、カラープリントをすることを目的として造られています。

● **リバーサル(スライド・ポジフィルム)**
プリントにしろくも色が判断でき、スライドに使用されます。色の再現性は良いのですが、撮影時に的確な露出が要求されます。カラーの印刷物では主にこれが使用され、コンテストに応募する場合にもよく使われます。

● **フィルム感度(ISO感度)**
フィルムが光を感じる度合のことで、ISOで表されています。数字が大きくなるほど光に敏感になり、暗い場所でも良く写ります。数字が小さいほど鈍感になり、撮影が難しくなりますが、適正露光で撮ると粒子が細かく色もきれいに出来ます。

● **APSフィルム**
画面は17×30ミリで、35ミリよりも小さく、使用カメラも小型になっています。カートリッジですからフィルム交換が容易です。とにかく簡単に失敗のない写真が撮れるシステムです。また、撮影時のデータなどが磁気に納められていますから、再焼きの時の色違いも少なくなります。

● **35ミリ**
フィルムのバーフォーレション(穴の開いた部分)8コマを1コマとして、これが35ミリになります。画面は24×36ミリで縦横の比率が2:3で写真を撮りやすいサイズとなっています。

● **ブローニー(2B)**
フィルム幅が約60ミリのフィルムで、35ミリと比較して画面面積(カメラによって画面サイズが異なります)が飛躍的に大きく

大伸ばしプリント

写真は大きくすると迫力が増して、部屋に飾るとムードを一新することができます。ネガ、リバーサルからお好きなサイズのプリントができます。サービス価格のキャビネ(2Lサイズ)、ワイドな6切、4切は大伸ばしプリントの中でもお得です。また、手焼きの大伸ばしは、お客様からの簡単な色の注文にも応じられます。

Lサイズと、大伸ばして全倍にした場合の面積比



プリント特集

ポストカード

写真でのお便り、年賀状ではすでに定番になっています。赤ちゃん誕生、入学・卒業、結婚、新築、暑中見舞、クリスマスカードなど、様々な情景を写真で送ることができます。注文も簡単で、写真が入っているフィルムを持参し、それに合わせたポストカードのタイプ（豊富にあります）を選んで指定するだけです。また、文字を入れることもできますし、自筆を入れることもできます。



カレンダープリント (マイカレンダー)

オリジナルなカレンダーをお気に入りの写真で、好きな時に作れます。サイズもポストサイズ、6切、4切があり、1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月のタイプができます。世界で1枚だけの自分のカレンダーができるのです。



- 製なら濃色の額縁が人物を引き立てます。
- スナップ写真・記念写真
- 装飾性の少ないシンプルなデザインの色縁。明色な額縁は明るい雰囲気、濃色は落ち着いた感じになります。
- 子供の写真では円形の写真皿やホワイトフレームなどが子供らしさが出て楽しい雰囲気を作ります。
- 〈風景写真〉
- 静かな風景・展望台などからの美しい風景
- 落ちついた雰囲気の額縁がベターです。フレーム幅の広い、重厚なデザインの額縁で、豪華さをプラスするのもよいでしょう。シンプルな画面構成・パターンの画面・色数を抑えた光景
- 装飾の少ない、シンプルな額縁で画面を引き締めると効果的です。現代的な対象ではアルミ額縁でモダンさを強調。
- 対象の色彩や雰囲気に、額縁の材質や色を合わせると、しっくりとした落ちつきが得られます。



ひとつの額に何枚か入れても面白い。

- 額縁は写真を引き立てる以外にも、プリントの紙の薄さが額縁で隠されるため、安直さが消えて格調が高める効果があります。しかし額縁があまりに立派過ぎると、内容が圧倒されて写真が弱く見える危険もありますので、写真の内容にふさわしい額縁を選ぶようにしてください。
- 〈人物写真〉
- 肖像写真・孤立した人物像
- 重厚な、落ちついたデザインの額縁。木

額縁の選び方

まず、この写真の品質については最大限の努力を払い、神経を使っています。毎日、毎週、毎月マニュアルに基づいて処理液の管理をし、品質チェックを行う一方、写真を検査・鑑定する蛍光灯も太陽光に近い光を使い、写真を見る場合には、蛍光灯と写真の距離を決めて光のバランスが一定になるよう、判定に狂いがないようにしています。

また、各店の間で品質のコンテストを実施して切磋琢磨しています。平均的レベルのアップに余念がありません。また、誰がプリントしたのかという責任所在を明確にするため、オペレーターは自分の印を押し、店員自身がお客様の大事な写真を大切に扱っています。

このような体制の基に、お客様から預かったフィルムから、より楽しめる写真を品質面からもとらえています。もっともこのようなシビアな体制をとっていても、写真の素材となるカラーフィルムを、例えば車のダッシュボードに入れたまましておかないとか、期限切れフィルム使わないといった、ご配慮をいただく、より高品質で楽しい写真を提供していくことができます。



額のなかで空間を作ると効果も違います。

書斎は静かなムード写真

お客様を迎える玄関は小型の写真で……

プリント関連用語ミニ事典

なり、細密な描写が得られますので大伸しプリントにした時でもきれいな写真が得られます。使用カメラは中判カメラと呼ばれ、6×4.5cm、6×6cm、6×7cmなどがあります。

● スリッパ仕上
リバーサルフィルムのカット方法で、6コマあるいは3コマ毎にカットした仕上げです（一切カットしていないものは長巻き仕上げといえます）。

● マウント仕上
リバーサルフィルムを1コマずつカットして枠（マウント）に入れていきます。この場合スレーバヤ長巻きより料金が若干高くなります。

● ラッシュ
現像したネガカラーフィルムからスライドを作ることです。同時プリントと一緒にラッシュを注文すると色や露光のチェックにも使えて便利です。

● ベタ焼
現像済のネガフィルムより、印刷紙に密着して焼き付ける方法です。写真整理が楽になります。

● デュープ
一般的にフィルムの複製を指します。

● 複写
写真や本などをカメラで写すことをいいますが、最近では当社にあるピクトロスタットで、簡単に写真画質のプリントが得られます。

写真を楽しめるアイテムは無限にあります。

キタムラ プリント用品担当 村井和博

写真を楽しむアイテムは、私どもでも数えきれないほど扱っています。まず飾るといふ面では、額縁にしても百種類以上、机の上に飾る小さなフレームもありますし、写真をマグカップに、あるいはお皿に入れて飾ることもできます。また、写真は飾るだけでなく、送る贈ることもありますし、持ち運んで人に見せるといふこともあるでしょう。もちろん、写真を保存するアルバムにしても、ただ単に保存だけに終わらせず、楽しく作るツールもあります。こうした楽しむ、活用するといった観点から写真用品を眺めてみると、無限にあるといえます。

部屋の雰囲気を大切に

額縁は写真と部屋とをむすびつけるという役割を担っています。したがって部屋の雰囲気に合ったものを選ぶことが大切です。写真の内容と部屋の両方がマッチすれば、一番よいのですが、どちらか迷った場合には部屋の雰囲気に合ったものを選びましょう。



和室にはシンプルな額縁を。

プリント特集

写真名刺

キタムラの写真名刺は無光沢の高級感のある専用ペーパーを使用していますので、仕上がりも落ちついた雰囲気の名刺になります。表面は文字が記入でき、捺印も可能です。



テレホンカード

赤ちゃん誕生、結婚、叙勲、ホールインワンなどなど記念すべきことがあったら写真を入れて、あなただけのテレカが作れます。1枚からでも注文を承っていますし、文字を入れることもできます。



ダイレクトプリント

リバーサルフィルムから直接プリントしますので高画質なし判～全紙サイズまでのプリントが得られます。また、ネガがなくとも写真からダイレクトで何枚もの写真が得られます。



シールプリント

このプリントも活用範囲の広いプリントです。ペットや愛車、趣味の写真をシールプリントにして手紙の封印に使ったり、シンボルにすることもできます。もちろん、自分の顔をハガキや名刺に貼ることもできます。幼稚園に入園した時、鉛筆やスリッパに貼っておくと自分の物の判別が容易になりますし、バレンタインのチョコレートに貼って、ほかの人と差を付けることもできます。タイプは1枚のシールに2コマ、4コマ、20コマがあり、目的によって選べます。



パズルプリント

お気に入りのペットや景色の写真が楽しいジグソーパズルになります。パズルが完成した後は額に入れて飾っておくこともできます。6切、4切、半切のサイズがあります。



クリスタルプリント

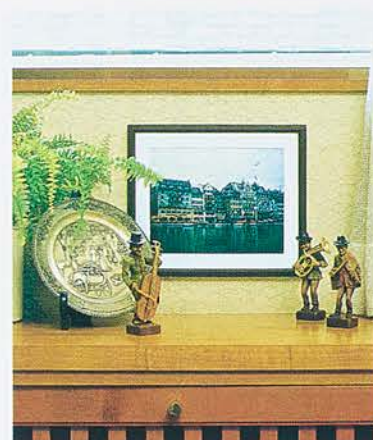
大事な写真、輝きを持たせたい写真、とっておきの写真には是非、このプリントがおおすすめです。プリントの用材を紙から樹脂系の素材に変えて、奥行きのある色彩、ピカピカの光沢、薄くて丈夫、耐久性も抜群のプリントです。



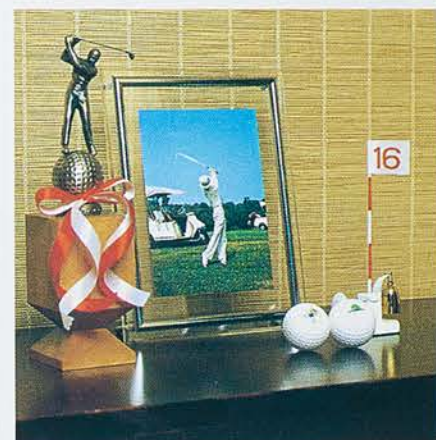
木造りの壁には、濃茶色の額縁が目立つ。木目調の壁には、白木の額縁が合うように思います。額縁が壁に溶け込んでしまう傾向があります。むしろ濃茶色の額縁など、はっきりとした色のものが合います。



う。額縁はどんなに小さくても、大きな空間を十分に支える力を持ち、ひとつの「家具」として目立つものなのです。



小物と一緒に飾るとイメージがふくらみます。



壁の材質によって額縁の取り付け方が異なります。額縁を壁に飾るには吊り金具が必要になります。壁にもいろいろ種類がありますので、それに合わせた金具を準備します。壁には板壁、塗壁(しっくい壁、京壁、織維壁)、タイル壁、コンクリート壁、さらに表面も材質によって異なります。



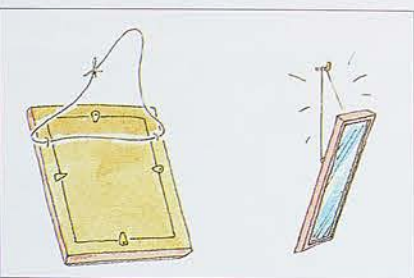
花柄の壁には、白木の額縁で優しく。細かな花柄をあしらった壁は、女性らしい愛らしさを感じられます。そんなイメージをもつ壁には、優しく、あたたかみのある白木の額縁が似合っています。



ストライプ模様の壁には、アルミ額縁でモダンに。

ストライプ模様や幾何学模様など現代的なイメージの壁紙が使われている壁には、シャープなアルミ額縁が適しています。壁のもつモダンな雰囲気を引き立てます。

軽い額縁ならば、ブルータックや粘着性のある接着剤を利用すると釘の打てない壁にも飾ることができます。



ひもでの吊り方
ひもを輪にして棧の釘と額縁が二辺の画鋲(または釘)に引っかけて吊ります。高さは輪の大きさと調節します。



の使用は不可能です。こうした場合は長押しや横棧などの木を利用して釘を打つなどしながら金具を付けてクサリ、ひも、釣り糸などで額縁を下げますが、専用金具もあります。



フックの種類も豊富です。

和室の場合は、しっくい壁であれば軽い額縁ならコンクリート用などを流用できます。しかし、京壁のような土壁はフック類の取り付けが難しいです。市販されているフックには、種類も豊富にあります。また、どの程度の重量に耐えられるかを表示しているものもありますので、額縁の重量に合わせて選ぶこともできます。



タイル等の壁の場合

それは、あなたの創造力がずっと待っていたカメラです。

映像と情報のワンダーランドへ
Canon



ファインダーを覗くとき、誰もがもっともっと自由な発想でいられるように。
オーバル形のエリアAFフレームに45もの測距点を高密度で配置した、新方式のAFを搭載。
EOSは今、あなたの感動をそのまま大きく受け止める、新たな才能を身につけました。

●被写体捕捉能力を飛躍的に高めた、45点エリアAF ●45の測距点を視線で選ぶ。進化した視線入力 ●測距点对应の21分割評価測光をはじめ、8種の測光方式を搭載 ●ボディ単体・最高約4.3コマ/秒、PB-E2装着(別売)で最高約7コマ/秒の高速連写 ●ワイヤレス多灯ストロボ撮影も実現。先進のE-TTL自動調光システム(スピードライト550EX使用時)

EOS-3メーカー希望小売価格 EOS-3ボディ… ¥185,000(税別)
EF28-135mmF3.5-5.6 IS USM付き… ¥263,000(税別)
EF24-85mmF3.5-4.5 USM付き… ¥243,000(税別)
EF50mmF1.4 USM付き… ¥240,500(税別)
パワードライブブースターPB-E2… ¥60,000(税別)
スピードライト550EX… ¥50,000(税別)
●お問い合わせは 〒108-8011東京都港区三田3-12-15東急三田ビル
キヤノン販売株式会社「EOS-3係」または、カメラ相談センター
TEL.(03)3455-9353までどうぞ。 キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

世界初 45点エリアAF、EOS-3 誕生



●CD-ROMプレゼント 45点エリアAFをはじめとする、EOS-3の魅力の数々をわかりやすくご紹介したCD-ROM「Canon EOS-3 Interactive Guide」を先着5,000名にプレゼントいたします。ご希望の方は、ハガキに住所・氏名・年齢・職業・現在お使いのカメラの機種を明記して、上記住所「EOS-3 CD-ROM係」までご応募ください。

●「特製シューティングアタッシュ」プレゼント 新発売を記念して、期間中EOS-3をお買い上げの方に「特製シューティングアタッシュ」をプレゼント。期間：'98年11月28日～'99年1月31日(なお、プレゼント品がなくなり次第終了とさせていただきます。ご了承ください。)くわしくはセール参加店へ。



新発売 Canon EOS 3

キタムラ インフォメーション

カメラのキタムラは今日も元気です。その元気な日本全国のキタムラ社員は、一人でも多くのお客様に写真の素晴らしさをご理解いただこうと、様々な活動を展開しております。このキタムラインフォメーションでは、そうした活動の一端を紹介してまいりますので、あるいは読者の皆様のお住まいのすぐ側のキタムラが出てくるかもしれません。少しでもご興味をお持ちになりましたら、お気軽に声をおかけください。いつでもお待ちしております。

直江津店・柏崎店が共催で「戸隠紅葉バスツアー」を実施

新潟のカメラのキタムラ直江津店では10月11日、柏崎店と共催で長野県の戸隠村へ、日帰りの撮影旅行をするイベント「戸隠紅葉バスツアー」を開催いたしました。柏崎を早朝5時30分に出発し、6時30分に直江津で合流、8時を少し過ぎた頃に戸隠村へ到着。前日の天候不順が嘘のように晴れ上がり、絶好の撮影日和となりました。講師としてご同行をお願いしたのは内田先生です。撮影会は戸隠村のコーナージュをお借りして、モデルもお願いしていただきました。紅葉や風景を撮るもよし、コーナージュの内外でモデル撮影をするもよしと、多彩な撮影会になるよう努めました。昼食は信州名物の蕎麦を用意しましたが、これがない外、参加したお客様にご好評をいただきました。この昼食時にはスライドで内田先生の作品を拝見し、またお客様が持ちになったスライドを、その場で内田先生に批評もしていただきまして、盛りだくさんの一日となりました。



モデル撮影風景

COM土佐道路店主催の「三脚の魔法」が好評

四国のCOM土佐道路店では、11月に催します紅葉フォトツアーに先立ちまして、10月18日に三脚メーカーのスリックから森泰生先生をお呼びし、三脚についての講習会「三脚の魔法」を開催いたしました。参加された多くのお客様がすでに三脚をお持ちの方々が多かったにもかかわらず、森先生の説得力あふれる講演と、鮮やかに軽やかに三脚を取り扱う様子を拝見して、あらためて三脚の素晴らしさを教えられ、大変に好評をいただきました。紅葉フォトツアーでも、講習会でお教えいただいた三脚のテクニックを駆使して、素晴らしい作品をものさされたことと思います。



森 泰生先生

編集後記

寒い季節がやってまいりました。「冬は寒くないですよ、暖かい季節なんです」という桜井先生の言葉に、そのまま桜井先生のお人柄がうかがえました。風景から華やかさが消える冬という季節に、桜井先生ならではの冬の撮影のアドバイスを多くいただいた、今回の特集はいかがでしたでしょうか。また、今回より田中長徳先生に直接執筆をお願いし、ライカの連載を開始いたしました。田中先生はご多忙の中を、こころよく執筆をお受けいただき、カメラのキタムラとしては感謝の意に堪えません。多くのご応募をいただきました「チビッコ写真コンテスト」につきましては、惜しくも入選を逃した作品の中から、カメラのキタムラ社員の選出による特別誌上ミニギャラリーを設け、キタムラ社員のコメントを添えてお届けいたしました。コンテスト入賞作品とともにご覧いただければ幸いです。今後も「フォトライフ四季」は、新しい試みを皆様にお届けしてまいりますので、引き続き皆様のご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

プレゼントが当たる! クロスワードパズル



答え = ○○○○○○
(ヒント:お正月の必須アイテムです。)

〈ヨコのカギ〉

- ふすまや障子をつけるための横木のこと。
- 家の古さをいう時に、○○10年などと表現します。
- 今年38年ぶりに優勝した横浜○○○○○○○。
- の元栓を締め忘れないように。
- 日本神話の舞台となっている○○○○の国。
- 東北地方の事を、音はこういいました。
- 気乗りしない作業を○○○○仕事などといいます。
- 食肉を英語でいうと?
- 小説を書くのは作家。絵を描くのは…?

〈タテのカギ〉

- 部屋の模様替え。○○○○を張り替えようかな?
- シャンプーなどの潤い成分はこう呼ばれています。
- ビジネスマンが目指すのは社長の○○。
- スナップ写真を撮る時の決まり文句は?
- 冷やして食べる和菓子。きな粉と蜜をかけます。
- する事がなくて、時間をもてあます事。
- 船の速さを表す単位。
- 「○○の功名」なんてことわざもあります。

問題:クロスワードに答えて、A~Eのマスをつなぐとある言葉になります。その答えとあなたの住所・氏名・年齢・職業をハガキに書いてご応募ください。正解者の中から抽選で30名の方に、粗品を進呈いたします。

あて先:〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-4-1
カメラのキタムラ「フォトライフ四季 クロスワードパズル」係
締め切り:2月27日(当日消印有効)

クロスワードパズル(Vol.25) 解答とご当選者

解答:「スイカワリ」

竹越信定(北海道)、天野宗謙(宮城県)、伊藤進(山形県)、古閑喜典(福島県)、本間嘉則(新潟県)、松島保雄(千葉県)、八巻昭吾(千葉県)、太田政男(埼玉県)、宮坂和輝(長野県)、池沼健(静岡県)、土谷晴治(三重県)、奥諭一(大阪府)、宮崎芳行(京都府)、小山一介(兵庫県)、後藤国利(島根県)、富樫秋注(鳥取県)、八和田洋二(岡山県)、七川哲也(広島県)、岡田啓王(広島県)、竹内彩(広島県)、竹内博士(山口県)、松下ちはる(香川県)、森久雄(徳島県)、松岡道正(高知県)、秋山真由美(愛媛県)、村上尚美(愛媛県)、前田収(佐賀県)、奥村孝(熊本県)、瀬川美利(大分県)、川田美佐子(宮崎県) 敬称略

撮ったら、すぐカード。

フォトラリー 四季

Vol.27

WINTER

平成10年12月11日発行 季刊誌27号

カメラのフジ

1F

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

03-5561-1111

www.fujifilm.co.jp

21世紀インスタントカメラ誕生



フジフィルム インスタックス ミニ10 チェキ
メーカー希望小売価格 10,000円(税別)

カバンにすっぽり
コンパクトボディ

定額入札にピッタリ
カードサイズ写真

フィルムも安く
チェキ!



インスタックスミニフィルム
1パック/10枚入り 700円(税別)
2パック/10枚入り×2 1,250円(税別)



カードサイズ写真(原寸大)



お問い合わせは 富士写真フイルム(株)インスタント写真部 ☎0120-10-7716 月～金/9:30～17:00(祝日を除く) FUJIFILMホームページ……… <http://www.fujifilm.co.jp/>

「チェキ100万円フォトラリー!」東京:1998年12月6日(日) 大阪:12月13日(日) [チェキを使って街中に隠されたクイズの答えを写していくフォトラリー。賞金総額なんと100万円! さあ、友達といっしょにチャレンジしよう!]
●集合場所(東京)渋谷109広場(大阪)阪急梅田駅サン広場 ●受付開始 10:00予定(定員になり次第締め切り・雨天決行) ●イベント終了時間 18:00予定 ●参加資格 15～25歳の女の子3名1組、女の子2名+男の子1名の組み合わせで。参加費は無料 ●参加人数 東京2,000チーム、大阪500チーム(定員になり次第締め切り) ●賞金総額100万円(東京・大阪とも) イベント参加の事前予約・お問い合わせは、☎0120-00-0307【チェキ・フォトラリー事務局】月～金10:00～17:00まで